

第213回 上級 工業簿記 ②

問題2

- 問1 月末仕掛品 [⑤ 6,000] kg
- 問2 月末仕掛品 [⑤ 5,200] kg

問題3

仕掛品			
月初仕掛品	[⑤ 63,483,200]	製品	[⑤ 749,680,000]
A材料	218,000,000	月末仕掛品	[⑤ 309,224,000]
B材料	[⑤ 104,624,000]		
加工費	672,796,800		

問題3

特徴	通常原価計算では価値移転的計算を行うが、連産品の原価計算では負担能力主義に基づく
	価値回収的計算が認められる。⑤
理由	連産品ごとに原料消費量や作業時間を測定することができず、投入と産出の因果関係が
	不明であるため。⑤

○数字は予想配点

第213回 上級 原価計算 ①

問題 1

問 1

製品 P [③ 2,100] 円／個 製品 Q [③ 3,000] 円／個

問 2

製品 P [⑤ 6,000] 個 製品 Q [⑤ 250] 個
営業利益 [③ 5,020,000] 円

問 3

製品 P [⑤ 4,500] 個 製品 Q [⑤ 2,000] 個
営業利益 [③ 7,120,000] 円

問 4

製品 P [⑤ 5,000] 個 製品 Q [⑤ 2,000] 個
営業利益 [③ 7,250,000] 円

問 5

機械のリースによりプロセスBの生産能力をフル活用することができ、その結果製品Pの生産販売量が

500個増加し、貢献利益が1,050,000円増加する。しかし、リース料が合計で920,000円発生するため、

営業利益は130,000円の増加となる。

⑩

第213回 上級 原価計算 ②

問題2

問1

(③ 変動製造マージン)

問2

損益分岐点売上高 [⑤ 3,000,000] 千円

安全余裕率 [⑤ 25] %

問3

固定費の修正項目として処理する。 ④

その理由： 営業外の損益は営業量に比例しないため ④

問4

経営レバレッジ係数 [⑤ 4]

計算過程： $2,400,000 \text{千円} \div 600,000 \text{千円} = 4$ ③

問5

営業利益増加額 [⑤ 240,000] 千円

計算過程： $600,000 \text{千円} \times 10\% \times 4 = 240,000 \text{千円}$ ③

問6

全経電機の安全性は ④ 改善した ・ 悪化した ・ 不変である。 ←○で囲むこと。

その理由： 安全余裕率が25%から約31%に上昇したため ④

○数字は予想配点